

Youth Center News

広島市青少年センターだより

発行：(公財)広島市文化財団
広島市青少年センター
広島市中区基町5番61号
<http://www.y-center.jp/>



令和3年12月15日発行

12/1月の休館日 毎週火曜日(12/7,14,21,28,1/4,11,18,25) 祝日の翌日(1/12) 年末年始(12/29-1/3)



講座・イベント情報

ひろしまリモート探偵団 vol.2 ゲンビアートクルーズ

第2弾は「ゲンビ」の愛称で親しまれている「広島市現代美術館」。子どもたちに向けて、工事中の美術館をオンラインで体験したり、身近な素材でアートを体験したり。ゲンビの魅力に迫ります！

- 日時 1/22(土)13:30-15:00
- 場所 青少年センター (ほか11か所のサテライト会場)
- 内容 ①みつげよう(美術館の内と外を謎解き探検)
②やってみよう(鉛筆と紙でできるアート体験に挑戦！)
③知ろう(美術館の作品を知ろう！)
- 対象 小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)
15名【先着】
- 参加費 無料
- 持ち物 マスク、飲み物、動きやすい服装
- 申込み 定員になり次第終了

延期開催します！劇作家のための第八回中国ブロック 劇王決定戦

短編で競う、観客の投票、そして審査員による審査。情熱と才能。プライド、すべてを懸けた戦いがある。

- 日時 1/30(日)予選Aブロック 10:15
予選Bブロック 14:00
決勝戦 17:30
- チケット 1,500円(当日2,000円)
高校生以下 500円
- CoRich チケット予約フォーム
<https://ticket.corich.jp/apply/115272/>
メール予約
gekioh.chuugoku@gmail.com
件名「チケット予約」として券種(一般・高校生以下)鑑賞ブロック・枚数・お名前(ふりがな)・電話番号をお知らせください。



なごみのラジオ&もぐらカフェ “紙コップでクリスマスツリーを作ろう”

サイズが小さいので家の中のいろんな場所に置きやすいです。

- ◆日時 12/18(土)14:00~16:00
- ◆場所 青少年センター-自販機コーナー
- ◆参加費 300円
- ◆定員 3名【先着】小学生は保護者同席。

今月のもぐらのおすすめ本 「大草原の小さな家の料理の本」 バーバラ・M・ウォーカー他2名 著/ 1980年12月/文化出版局



著者が娘の「アンナ」ちゃんと一緒に「大草原の小さな家」シリーズを愉しむうちに、親子ともに物語の世界に惹かれ、登場する料理を作り始めたことがこの本の誕生へと結びつきました。レシピ本として楽しめるのはもちろんですが、紹介される料理が登場した物語の一節とともに出てくることで「大草原の小さな家シリーズ」のストーリーも楽しむこともできます。生きるために畑を耕し、四季ごとに農作物を収穫し、家畜を育てていくという当時のアメリカ開拓民の暮らしぶり。便利なことが当たり前になっている中で生きていく今のわたしたちに、大切なものをたくさん教えてくれる1冊です。(今月のおすすめ人：もふもふ)

＝講座・イベント申し込み方法＝

電話、FAX、E-mailで氏名、年齢、電話番号を添えて青少年センターにお申し込みください。参加費は事業の初回にお持ちください。
TEL/082-228-0447 FAX/082-228-7074 E-mail/y-center@cf.city.hiroshima.jp
※申し込みの際にお知らせいただいた氏名、年齢、連絡先等の個人情報は、当人の許可なく事業以外の目的では使用しません。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、催しなどが中止となる可能性があります。その際は申込者に直接ご連絡します。

＝お得な情報をいち早く。＝

○公式LINE



○公式Facebook



○公式Twitter



ゴーゴーセイショウとは今年開館55周年を迎える青少年センターのキャッチフレーズです。

事業満載の秋。

- ①11/13 ロビー劇場がOPEN20周年を迎えました！
- ②11/13 子ども向け味噌づくり教室の準備を大学生スタッフ奮闘中
- ③11/21 リモート公民館に出演④11/20 総文祭(軽音楽部門)の最優秀バンド賞「chromatics」⑤11/27 忍者キッズ！⑥11/27 シヤレオてにぎわいづくり⑦11/28 天気恵まれたコイプレキッズデー



○広島大学より社会教育実習生を受け入れました。(10/23-12/12[7日間])

青少年センターで実習させていただき、実習生として多くの講座に関わらせていただきました。その中で一つ、大切にしたいことを見つけました。職員の皆様、絶えず利用者の皆様とのご縁をつないでいく姿勢です。これからより大きな世界へ巣立っていく私にとってこの姿勢はいつまでも忘れないようにしたいものになりました。

実習中に長時間関わった「次世代のための食育講座」では講座に参加している学生の皆様が「どのようにすれば小学生の参加者の方に楽しく魅力を伝えることができるか」を創意工夫を重ねる姿がとても印象的でした。学生の皆様が活動に精力的に取り組めるのは、青少年センターの方々のバックアップがあってこそではないでしょうか。

職員の方々が主導的に利用者の皆様とのつながりを作っていくのではなく、利用者の皆様が安心して結び付くことができる「場」を作っていく環境が青少年センターにはあります。

このような環境は、このようなご時世を乗り越えた未来に向けて紡いでいくことが必要だと思います。私自身も、実習を通して得た学びから「自分も周りの方々と縁を紡ぐことができる場」づくりにこれからも取り組んでいこうと思います。